

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第49号 R3. 7. 1

令和4年4月 東地区施設分離型小中一貫教育校開校に向けて

東地区の通学路等安全対策部会、PTA 部会の2つの部会で2回目の会議を行いました。

【通学路等安全対策部会】

○第2回：6月16日実施 豊能町役場

ふたば園の3～5歳児、東能勢小学校の保護者の皆様を対象に実施した通学方法のアンケート結果をもとに、登校班の区切りをどうするかについて協議を行いました。

アンケートの結果は、以下の通りでした。

登校班の区切り	件数	主な理由
1～4年生の登校班がよい	16件	5・6年生が中学校校舎に登校するため。1～4年生だけでは不安。
1～6年生の登校班がよい	40件	人数が少なくなると不安。また、班編成が困難。4年生の負担が大きい。高学年がいると安心。
他の方法がよい（わからない）	11件	現状うまく機能していない。保護者の責任で送ればよい。

たくさんの保護者の皆様、アンケートにご協力いただいたきありがとうございました。

各委員からの意見（一部抜粋）

- ・ 登校班を編成するうえでは、人数が多いほうがよいのではないか。
- ・ 登校班を実施することで、5・6年生の成長にもつながるのではないか。
- ・ 中学生が小学生の後ろを歩いてくれたらいいのではないか。

【PTA部会】

○第2回：6月20日実施 豊能町役場

各学校園単位 PTA 役員様のご意見も含め、令和4年度からの PTA 組織の在り方について協議を行い下記の通り提案することとしました。

- ① これまで小学校と中学校それぞれで組織していた PTA を1つの組織に統合する。
- ② 組織の統合に伴い、役員の人数を見直す。

本提案につきましては、ふたば園、東能勢小学校、東能勢中学校の保護者の皆様を対象にアンケートを実施し、小中一貫教育校での PTA 組織について検討を進めていきます。

各部会で検討した事項を開校準備委員会へ報告し、そこで協議を行い決定していきます。保護者の皆様には、7月の東能勢中学校区学校説明会で一定の方向性をお示ししたいと考えています。

桃山学院教育大学との連携協力に関する協定を締結しました

本町は6月17日（木）桃山学院教育大学と連携協力に関する協定書を調印、締結しました。この中で、本町と桃山学院教育大学の教育について意見交換を行い、実り多い締結式となりました。

桃山学院教育大学との連携協力については、「教員養成の充実、教職員の資質向上及び学校教育活動の支援の推進をすることを通じて、教育上の諸課題等に適切に対応することにより、豊能町の教育の充実並びに桃山学院教育大学の教育及び研究の充実発展に資する」ことを目的とし、

- (1) 学校現場のニーズを踏まえた教員養成の推進
- (2) 教職員の資質向上のために必要な研修の推進
- (3) 桃山学院教育大学の学生等による豊能町立学校の教育活動の支援の推進
- (4) 教育上の諸課題に係る調査及び研究の実施を行います。

まずは、「使える英語」をめざして、就学前からの英語教育について共同して取組みを検討していきます。



森田教育長（左）と中西学長（右）

保幼小交流会 ーふたば園・東能勢小学校ー

6月25日、ふたば園で保幼小交流会が行われました。来年4月小学校に入学するふたば園くま組の園児と来年度小学校校舎で最高学年となる東能勢小学校の現3年生が交流しました。

交流会では、まず初めにペアの友達と自己紹介をし、好きな食べ物を教え合いました。その後、ホールや園庭で一緒に遊び、楽しい時間を過ごしました。あっという間に一時間が過ぎ、子どもたちからは、「楽しかった。」「もっと遊びたかった。」との声が聞こえてきました。



じゃんけん列車



転がしドッジボール



自由遊び

転がしドッジボールでは、3年生の児童が、ボールを取り合う園児に「ゆずり合いやで。」と優しく言っている場面や、ボールに当たらないように年長の子を守ってあげている姿が見られました。優しく接する3年生の子どもたちの姿は、園児には、すてきなお兄さんお姉さんに映ったことと思います。また、3年生の児童の中には、小さな子どもたちと一時を過ごすことにより、自分の成長に気づくことができたのではないのでしょうか。